

プレスリリース

ザイド・サステナビリティ賞 2021 応募受付開始

- 応募資格：サステナビリティな革新に取り組んでいる世界各国の企業・団体や高校（国籍不問）
 - 応募締切：2020年6月11日
- 昨年度実績：世界129カ国から2,373件の応募



日本、2020年5月7日 – ザイド・サステナビリティ賞（Zayed Sustainability Prize）は、アラブ首長国連邦（UAE）が主宰する、サステナビリティ（持続可能性）に関する先駆的な賞です。毎年、世界各国の企業・団体や高校から卓抜したイノベーターを招いて表彰しています。今回募集するのは、第13回目となる同賞への応募者です。各部門の受賞者には、サステナビリティに関する革新的なソリューションを促進するための資金として60万米ドル（約6460万円）が授与されます。

本年度の応募は、2020年6月11日までポータルサイトで受け付けております。昨年度は129カ国から2,373件の応募があり、過去最高を記録しました。この賞は、「保健」「食糧」「エネルギー」「水資源」「グローバル・ハイスクール」の5つのカテゴリーで構成されており、各部門で「持続可能」かつ「人道的」な開発における革新的なソリューションを表彰しています。

同賞の事務局長であるスルターン・アーメド・アル・ジャベール国務大臣は、次のようにコメントしています。「この賞は、優れたソリューションを見出し表彰してきた12年間の実績があります。本年度も、世界で最も緊急性の高い課題を解決するため、世界で最も熱心なイノベーター達からの応募が集まることを確信しています。世界のサステナビリティと人道主義へのコミットというシェイク・ザイドの遺志を継ぎ、今後50年にわたるソリューションを計画し、準備し、発見したいと思います。これは今年わが国の指導者が定めた方針です」

2008年の世界未来エネルギーサミットとして開始したこの賞は、これまでに世界各国の3億3,500万人の人々の生活を直接的、間接的に革新した86の団体や学校プロジェクトに授与されてきました。

日本では、過去にパナソニック株式会社とトヨタ自動車株式会社が企業部門において受賞しております（今年度は企業部門はありません）。パナソニックはエネルギー使用量の削減や自然エネルギーの利用を促進する製品開発に注力していることから選出されました。トヨタ自動車は画期的な燃費システムを持った世界初の量産ハイブリッド車プリウスを開発したことが評価され選ばれました。

本賞では、年間 300 万米ドルの賞金が準備されています。「保健」「食糧」「エネルギー」「水資源」の 4 つのカテゴリーの受賞者には、それぞれ 60 万米ドルの賞金が授与されます。「グローバル・ハイスクール」のカテゴリーでは、世界を 6 つの地域に分け、それぞれから選出された高校がプロジェクトを開始または推進できるよう、各校に最大 10 万米ドルが贈られます。「グローバル・ハイスクール」のカテゴリーは、次世代のサステナビリティのリーダーを育成し、未来の地域社会を強化するために、2012 年に同賞に加えられたものです。

受賞対象の範囲は広いですが、エントリーを構成する中心的な要素は、人々の生活にポジティブな変化をもたらす革新的なテクノロジー、アプリケーション、ソリューションなどが該当します。「保健」「食糧」「エネルギー」「水資源」のカテゴリーに応募する組織は、日常不可欠な製品やサービスの入手可能性を改善していること、そして生活と労働条件を改善するための長期的なビジョンを提示することが要求されます。参加資格は、中小企業または NPO 法人に限ります。グローバル・ハイスクールのカテゴリーでは、生徒主導のプロジェクト運営で革新的なアプローチを提示することが求められ、それによって他の生徒たちにもインスピレーションを与えることが期待されています。

#FindThePioneer キャンペーンの開始

持続可能性は共有の責任であるという信念に基づき、ザイド・サステナビリティ賞では、5 つのカテゴリーのいずれかで人々の生活を変えているパイオニアを表彰する #FindThePioneer キャンペーンを実施し、候補者を募集しています。キャンペーンのハッシュタグ「#FindThePioneer」をつけて候補企業や学校をソーシャルメディアに投稿するか、japan@affluencepr.com までメールでご連絡ください。

2021 年度の受賞者は、2021 年 1 月のアブダビ持続可能性週間中に開催される年間受賞式典で発表されます。

賞のカテゴリーと応募資格については、別紙 A を参照してください。

審査基準とプロセスについては、別紙 B を参照してください。

過去の受賞者のリストについては、別紙 C を参照してください。

+++

ザイド・サステナビリティ賞について

ザイド・サステナビリティ賞は、2008 年の世界未来エネルギーサミットにおいて、シェイク・モハメド・ビン・ザイド・アル・ナヒヤーン首相により発表されました。当賞は、シェイク・モハメド・ビン・ザイド・アル・ナヒヤーン首相の父親 故シェイク・ザイド・ビン・スルターン・アール・ナヒヤーン首相の持続可能性への取り組みを讃えたものです。同氏は生前、世界各国の再生可能エネルギーのソリューション開発を奨励していました。アラブ首長国連邦の首相による野心的な取り組みから、人類のサステナビリティに良い影響を与えるという、世界で最



も有名で、最も重要な賞の 1 つに発展しました。当賞は、世界各国で、革新的かつインパクトのある持続可能性に関するソリューションを推進してきたイノベーター達と先見の明のある人々に授与されています。

+++

ザイド・サステナビリティ賞

1. 保健

このカテゴリーでは、以下に示す保健分野において、「イノベーション」「インパクト」「インスピレーション」の3つを兼ね備えた持続可能性ソリューションを提示した組織を表彰する。(しかし、以下に限らない)

- 日常不可欠な医療の安価な提供
- 妊婦と新生児に関わる医療の提供
- 流行病の終息(エイズ、マラリア、結核など)
- 水系感染症、伝染病および非伝染性疾患の予防と治療
- 汚染、有害化学物質、公害病の低減

応募する組織は、ソリューションを展開し影響を広げていくための明確なビジョンと長期計画を提示しなければならない。受賞後には、持続可能性と人材開発をさらに推し進め、ソリューションが他の組織に活用されることを促すことが期待される。

組織形態は、中小企業(SME)または非営利団体(NPO)であることを要する。

賞金は 60 万 USD。

2. 食糧

このカテゴリーでは、以下に示す食糧分野において、「イノベーション」「インパクト」「インスピレーション」の3つを兼ね備えた持続可能性ソリューションを提示した組織を表彰する。(しかし、以下に限らない)

- 飢餓と栄養失調の低減
- 農業または食糧加工の生産性向上
- 食料生産の持続可能な強化

応募する組織は、ソリューションを展開し影響を広げていくための明確なビジョンと長期計画を提示しなければならない。受賞後には、持続可能性と人材開発をさらに推し進め、ソリューションが他の組織に活用されることを促すことが期待される。

組織形態は、中小企業(SME)または非営利団体(NPO)であることを要する。

賞金は 60 万 USD。

3. エネルギー

このカテゴリーでは、以下に示すエネルギー分野において、「イノベーション」「インパクト」「インスピレーション」の 3 つを兼ね備えた持続可能性ソリューションを提示した組織を表彰する。(しかし、以下に限らない)

- 安価で信頼性の高いクリーンエネルギーの提供
- クリーンエネルギーの生産拡大
- エネルギー効率の向上
- クリーンエネルギー等の新技術の導入

応募する組織は、ソリューションを展開し影響を広げていくための明確なビジョンと長期計画を提示しなければならない。受賞後には、持続可能性と人材開発をさらに推し進め、ソリューションが他の組織に活用されることを促すことが期待される。

組織形態は、中小企業(SME)または非営利団体(NPO)であることを要する。

賞金は 60 万 USD。

4. 水資源

このカテゴリーでは、以下に示す水資源分野において、「イノベーション」「インパクト」「インスピレーション」の 3 つを兼ね備えた持続可能性ソリューションを提示した組織を表彰する。(しかし、以下に限らない)

- 安全で安価な飲料水の提供
- 衛生的な環境の提供
- 水使用効率の向上
- 水質の改善

応募する組織は、ソリューションを展開し影響を広げていくための明確なビジョンと長期計画を提示しなければならない。受賞後には、持続可能性と人材開発をさらに推し進め、ソリューションが他の組織に活用されることを促すことが期待される。

組織形態は、中小企業(SME)または非営利団体(NPO)であることを要する。

賞金は 60 万 USD。

5. グローバル・ハイスクール

グローバル・ハイスクールのカテゴリーでは、保健、食糧、エネルギー、水資源の分野において、「イノベーション」「インパクト」「インスピレーション」の3つを兼ね備えた持続可能性ソリューションの提示した高校または中学校を、世界6地域ごとに表彰している。プロジェクトの提案は、1つの分野(保健、食糧、エネルギー、水資源のいずれか)でも、複数の分野の組み合わせでもよい。

この賞は、学生が持続可能性に関するアイデアを発展させ、将来に向かって実現することを奨励することを目指している。よって、学校教育に関する行政プロジェクトや教育改革を目的とするものではない。

また、この賞は、過去の功績に対する表彰ではなく、受賞した高校の生徒たちが、自分たちの学校で持続可能性プロジェクトを実現することを支援するものである。生徒主導のプロジェクトは、持続可能性の課題に取り組む上で革新的なアプローチといえる。よって、生徒たちが持続可能性の開発に、積極的な役割を果たすよう促すものでなければならない。

申請は生徒が提出し、学校の教員が支援を行うものとする。提案するプロジェクトは、次の条件を満たさなければならない。

- 「イノベーション」「インパクト」「インスピレーション」の3つの基準をどのように満たしているかを示していること
- 1~2年以内に実施・運用できること
- 学校または地域社会に数年間にわたって恩恵をもたらすこと

世界を6つの地域にわけ、各地域の1つの学校に最高10万USDを進呈する。

1. 南北アメリカ
2. サハラ以南のアフリカ
3. 中東・北アフリカ
4. ヨーロッパ・中央アジア
5. 南アジア
6. 東アジア・太平洋諸国



別紙 B

審査の基準とプロセス

審査基準

保健、食糧、エネルギー、水資源の各カテゴリーの審査基準は以下のとおりである。

<u>イノベーション (40%)</u>	<u>インパクト (30%)</u>
<p>イノベーションとは、新しいソリューションまたは既存のソリューションを変革することをいう。これらは、課題やニーズを解決し、新しいバリューを生み出し、大きなプラスの効果をもたらすものでなければならない。</p> <p>ソリューションには、テクノロジー、サービス、ビジネスモデルが含まれる。</p> <p>イノベーションの審査基準において、組織は以下の事項を証明することが要求される。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 独自の価値提案を有すること • 既成概念に破壊または変容をもたらすこと • 技術的にも商業的にも実行可能であること • 市場経済において受け入れられること <p>この賞は、初期のスタートアップ、プロジェクトのデモンストレーション、プロトタイプ、現地で影響をいまだ発揮していないソリューションには授与されない。</p>	<p>インパクトとは、世界をより良い場所に変えることが証明された、好ましい変化のことをいう。これらは、社会的、経済的、技術的、環境的な課題に対処し、人類の幸福を向上させるものでなければならない。</p> <p>イノベーションの審査基準において、組織は以下の事項を証明することが要求される。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ソリューションがすでに現地の人々の生活の質に良い影響を与えていること • 潜在的な社会的、経済的、技術的、環境的な課題に対処できること • 適切なスキルを持った人々を雇用し、公正なポリシーを確立することで、適切な運営がなされていること • 賞金が授与された場合、よりインパクトを強めるための詳細な計画があること



インスピレーション (30%)

アラブ首長国連邦(UAE)建国の父であるシェイク・ザイド・ビン・スルターン・アール・ナヒヤーンは、世界の持続可能性と人間開発に関する先駆的な提唱者である。彼は、現在および将来世代のニーズを満たす、社会経済開発の追求に人生を捧げた。この賞を通じて、シェイク・ザイドの遺産は、今や世界全体のインスピレーションの源となっている

インスピレーションの審査基準において、組織は以下の事項を証明することが要求される。

- シェイク・ザイドのアプローチと行動の中心となった、持続可能性と人間開発というコアバリューを反映していること
- 世界の持続可能性と人間開発を推進するよう、他者を感化し影響を与えうること
- 行動の変化を促すことで、より広範なコミュニティから持続可能な行動を引き出しうること

グローバル・ハイスchoolのカテゴリーの審査基準は以下のとおりである。

イノベーション (30%)

イノベーションとは、保健、食糧、エネルギー、水資源の分野において、学校や地域社会の課題やニーズを解決するために、生徒が提案する創造的なアイデアのことをいう。

イノベーションの審査基準において、学校は以下の事項を証明することが要求される。

- 生徒たちの協力によって、既存のテクノロジーの活用、または独自のテクノロジーの開発によって、特定された課題に対して革新的なソリューションを提供していること
- 生徒たちは、プロジェクト管理の手法、すなわち「計画」「スケジュール」「予算」を通じてアイデアを実行し、学校で学んだことを応用して社会的に望ましい持続可能性を実現しうること

インパクト (30%)

インパクトとは、提案されたプロジェクトが、学校、生徒、地域社会の福祉に対してポジティブな変化を及ぼすことをいう。

インパクトの審査基準において、学校は以下の事項を証明することが要求される。

- 持続可能なエネルギー、清潔な水、基礎医療、学校や地域社会への栄養価の高い食糧の提供等において、測定可能な持続可能性に関する成果をもたらすこと
- 現在および将来の学生の両方にメリットをもたらすこと。これらのメリットには、持続可能な開発分野における教育機会および技術技能向上の機会が含まれるが、これらに限定されるものではない。

インスピレーション (40%)



アラブ首長国連邦(UAE)の建国の父であるシェイク・ザード・ビン・スルターン・アール・ナヒヤーンには、国家による最大の投資とは、知識のある若年世代を育成することにあるという信念があった。彼は、国家の成功の基礎を築くため、社会的責任を分担することで、開発プロセスにおいて若者が積極的な役割を担うことを強く信じていた。この賞を通じて、シェイク・ザードの遺産は、今や世界全体の若年世代のインスピレーションの源となっている。

インスピレーション基準では、学校は以下のことを証明することを要求される。

- シェイク・ザードのアプローチと行動の中心となった、持続可能性と人間開発というコアバリューを反映していること
- プロジェクトは長期的に維持可能であること
- 持続可能性の課題に取り組む能力を備えた、次世代のイノベーター、起業家、リーダーとなるよう、学生たちを感化するものであること
- より広い地域社会や他の学校から、責任ある行動を引き出しうること

審査のプロセス

すべての応募プロジェクトは、以下の3段階のプロセスを経て審査される。

ファーストステージ

国際的に著名な調査会社に依頼して、すべての応募プロジェクトにつきデューデリジェンスを実施し、ザード・サステナビリティ賞の基準を満たしていることを確認する。



セカンドステージ

選考委員会がすべてのエントリーを審査し、最終エントリーは審査員に送られ最終評価を受ける。



サードステージ

審査員は、合議によりファイナリストを審査し、各カテゴリーの受賞者を決定する。最終決定は全員一致で行う。受賞者は、アブダビ持続可能性週間にアブダビで開催されるザード・サステナビリティ賞授賞式で発表される。



別紙 C

過去の受賞者

2020		
カテゴリー	受賞者	内容
保健	GLOBHE	GLOBHE は、ドローンサービスを提供する SME (中小企業) である。健康被害の予防と対策のため、グローバル・ドローンデータプラットフォームの開発を行った。プラットフォームに接続されているドローンのパイロットは、48 カ国で 3,600 人以上に上り、オンデマンドの依頼によりドローンでデータを収集する。
食糧	Okuafo Foundation	Okuafo Foundation は、ガーナを拠点とする人工知能サービスを提供する SME である。人工知能 (AI)、機械学習 (ML)、データ分析を活用して、農作物の病気や虫害の発生を予測・検出するスマートフォンアプリケーションを開発した。科学的知識の裏付けを持つソリューションをリアルタイムに提案している。



<p>エネルギー</p>	<p>Electricians Without Borders</p>	<p>Electricians Without Borders (EWB)は、難民キャンプに高品質なソーラー機器を提供する国際的な NPO(非営利援助団体)である。30 カ国以上で 50 年間の実績があり、何百万人もの人々の生活に影響を与えてきた。EWB は、機器を修理するための訓練もっており、電力の長期的な確保と安全性の問題を克服している。</p>
<p>水資源</p>	<p>Ceres Imaging</p>	<p>Ceres Imaging は、独自のスペクトルイメージングセンサと人工知能(AI)により、農業における水資源の利用の最適化を実施している。データ主導型の技術によって、より効率的な灌漑が可能となり、今なお増加する世界人口の飢えと渇きを満たすのに十分な水量の提供が可能となった。</p>
<p>グローバル・ハイ スクール – 南北ア メリカ</p>	<p>Air Batalla</p>	<p>Air Batalla は、コロンビアの半砂漠地帯において、水と食糧の問題で何千人もの人々の生活に影響を与えている。提案されたプロジェクトは、海水を利用して、作物を栽培するものである。マイクロ環境として開発された温室では、豆、キュウリ、トマト、アシス(コショウの一種)、メロンなどが栽培される。</p>



<p>グローバル・ハイ スクール - ヨーロ ッパ・中央アジア</p>	<p>United World College</p>	<p>United World College (UWC) はボスニア・ヘルツェゴビナのモスタルにある学校である。同国初の学校として 2006 年に設立された。3 つの国から集まった異なる民族の生徒たちが、ひとつのカリキュラムで学習できるよう工夫されている、本提案は、環境に配慮した校舎を、モスター市内に建設するというものである。</p>
<p>グローバル・ハイ スクール - 中東・ 北アフリカ</p>	<p>Al Amal Junior High School</p>	<p>Al Amal Junior High School は、モロッコにある、同地域では数少ない学校の一つである。同校は、生徒たちに農業や夏期の水不足への対処方法を教えている。環境と持続可能性に対する意識を高めるため、いくつかのプログラムやガーデニングの実践を通して、地域社会に積極的な影響を与えることにも力を入れている。</p>
<p>グローバル・ハイ スクール - サハラ 以南のアフリカ</p>	<p>Hakimi Aliyu Day Secondary School</p>	<p>Hakimi Aliyu Secondary School Mokwa (HASSM) は、14 年前に設立された、ナイジェリアのモクワ地区にある中学校である。職業訓練科を通して、生徒が教室外でも、より高い技能習得やエンパワーメントによる若者の意識改革を目的としている。</p>



<p>グローバル・ハイ スクール - 南アジ ア</p>	<p>Bloom Nepal School</p>	<p>Bloom Nepal School は、5 歳から 17 歳までの 270 人の学生に農業を教える、ネパールのマハラクスミにある学校である。最大 1 トンの有機廃棄物をバイオガスと有機肥料に変換するバイオガスユニットを設置し、食物⇒エネルギー⇒廃棄物のチェーン構造を活用するプロジェクトを提案した。</p>
<p>グローバル・ハイ スクール - 東アジ ア・太平洋諸国</p>	<p>Eutan Tarawa leta Junior Secondary School</p>	<p>Eutan Tarawa leta (ETI) Junior Secondary School は、キリバスの首都があるタラワ島の北部に位置している。この学校は、学校内の敷地の一部を菜園や鶏小屋に変え、食料生産を行っている。生徒たちに健康的な食事についての教育を実施し、糖分の多い加工食糧への依存を原因とする糖尿病を予防することを目的としている。</p>

2009 年～2020 年の受賞者一覧は[こちら](#)を参照してください。